

## 給電情報伝達システムの開発

### 給電情報の効率的な提供と活用

近年、電力系統における故障停電や需給状況をはじめとする給電情報の収集・伝達の迅速化に対する必要性が高まっている。このため、給電情報を自動収集して編集・加工・分析等を行う給電情報伝達システムを開発した。停電情報については62年7月から関係部署に情報提供を行っており、需給情報については63年6月から詳細な需給分析など電力系統の高度運用に役立てている。

#### 1 給電・制御システムとリンクしたシステム

給電情報伝達システムは、支店社においては制御所システム、本店においては中給自動給電システム等とデータリンクした分散コンピュータ（給電情報伝達装置）によって適宜必要なデータを作成、蓄積、伝達するシステムである。

各装置は、随時または定時に運転データを自動収集・編集するとともに、本・支店社装置間をネットワークで結び、情報の授受を行っている。

このようにデータベース化した給電情報は、関係部署の必要に応じた形に整理・加工して提供されている。

#### 2 停電情報の提供

電力系統に故障が発生した場合、関係部署（営業、広報、給電部門）に自動的に停電情報を提供することを目的として、62年7月に導入した機能である。

提供する停電情報は、次の4種類である。

- 変電所母線故障停止
- 送電線故障停止
- 配電変圧器故障停止
- 特別高圧受電のお客様停止

これらの情報は、制御所システムから自動受信して作成する。

関係部署に対しては、ブザー警報により停電発生を知らせるとともに、端

末装置の画面表示にて情報を提供している。

これにより、給電所は情報提供業務を軽減して復旧に専念することができ、関係部署はお客様からの問い合わせに対して的確な対応をとるための情報の入手が迅速に行われるようになった。

#### 3 需給情報の提供と活用

従来、発受電電力量実績をはじめとする需給情報については、制御所等で作成した帳票や電話により入手したデータを基に、手作業で集計・統計・分析等の処理を行っていた。

今回、これを制御所システム、中給自動給電システム等から自動収集し、次の処理を行うことによって、給電部門に対して必要な形の需給情報を提供できるようにした。

- 日報、月報類の自動作成
- 地域別・業種別需要曲線の作成
- 系統別需要の分類集計

この機能は、63年6月に導入しており、正確な需給情報の迅速な入手、情報のデータベース化による検索、詳細な需給分析等情報の高度利用が可能となった。（系統運用部 給電施設課）

